

世界のハイブランドウォッチを1冊に収めた完全保存版

腕時計の図鑑

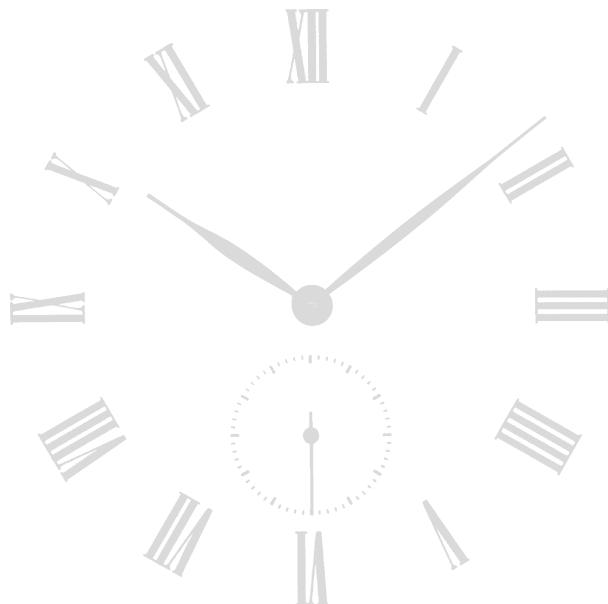


厳選
モデル
を徹底解説!
272

ムーブメントから高級時計を学ぶ／腕時計の仕組みをひもとく
腕時計の歴史／アンティーク時計の世界

マイナビ

腕時計の図鑑



伝統的かつ革新的
そして想像力の結晶



素晴らしい タイムピースの 世界

*The World of
Wonderful Timepieces*

(左) ヴィルレ ウルトラスリム／ブランパン
(右) シーマスター 300／オメガ

人生を冒険する
確かな信頼を片腕に



時計職人たちの技術は
トライディッシュナルでいて革新的だ
それは、
アスリートの記録を計測するため
宇宙探査をするため
もしくは憧れのスターに近づくため
そして、己の信念のために

(左) レベルソ・クラシック・ラージ／ジャガーカルクルト (右) エル・プリメロ クロノマスター／ゼニス

時が加速するような
都市生活を軽やかに泳ぐ



(左) タイムウォーカー アーバンスピード デイト オートマティック／モンブラン (右) アクアレーサー キャリバー 16 クロノグラフ／タグ・ホイヤー

知性と品格を
印象づける



時を知るだけならば
こだわる必要は、きっとない
時を刻むのであれば
きっと、こだわらざるを得ない
ラグジュアリーでいて
ステータスを誇示する
人生を彩るマスターピース
それが腕時計だ

腕時計の図鑑

目次

30	ブライツィンハグ	BREITLING
32	ブルガリ	BVLGARI
34	カルティエ	CARTIER
36	ジラール・ペルゴ	GIRARD-PERREGAUX
38	ウブロ	HUBLOT
40	－WC	IWC
42	ジャガード・ルクルト	JAEGER-LECOULTRE
44	オメガ	OMEGA
46	パネライ	PANERAI
48	パテックフィリップ	PATEK PHILIPPE
50	ピaget	PIAGET
52	リシャール・ミル	RICHARD MILLE
54	ロレックス	ROLEX
56	タグ・ホイヤー	TAG HEUER
58	ヴャショロン・コハスタン	VACHERON CONSTANTIN
60	ゼニス	ZENITH
62	比類なき名声と実力を兼ね備える ムーブメントから高級時計を学ぶ	
68	アーノルド&サン	ARNOLD & SON
69	ボールウォッチ	BALL WATCH
70	ボーム&メルシエ	BAUME & MERCIER
22	オーデマ・ピゲ	AUDEMARS PIGUET
24	ア・ランゲ&ゾーネ	A. LANGE & SÖHNE
26	ブランパン	BLANCPAIN
28	ブレゲ	BREGUET

第2章 腕時計の図鑑

Part.1

第3章 腕時計の図鑑

Part.2

第1章 腕時計の基本

知つておきたい

腕時計の基礎知識

識者たるに聞こた。

高級腕時計の魅力と選び方

比類なき名声と実力を兼ね備える
ムーブメントから高級時計を学ぶ

22	オーデマ・ピゲ	AUDEMARS PIGUET
24	ア・ランゲ&ゾーネ	A. LANGE & SÖHNE
26	ブランパン	BLANCPAIN
28	ブレゲ	BREGUET

68	アーノルド&サン	ARNOLD & SON
69	ボールウォッチ	BALL WATCH
70	ボーム&メルシエ	BAUME & MERCIER

CONTENTS

71	ベル&ロス BELL & ROSS	95	ハンハハ JUNGHANS
72	ブローバ BULOVA	96	ロンジン LONGINES
73	カール フ・ブケル CARL F. BUCHERER	97	ルイ・ヒュード LOUIS ERARD
74	カシオ CASIO	98	ルイ・ヴィトン LOUIS VUITTON
75	ショーメ CHAUMET	99	マーチャ・クロード MAURICE LACROIX
76	ショパール CHOPARD	100	マイスター・シンガー MEISTER SINGER
77	クロノスイス CHRONOSWISS	101	モンブラン MONTBLANC
78	シチズン CITIZEN	102	ノモス・ゲルガウツォー NOMOS GLASHÜTTE
79	コルム CORUM	103	オリエント ORIENT
80	クエルボ・イ・ソブリノス CUERVO Y SOBRINOS	104	オリス ORIS
81	ディオール DIOR	105	ピエール・ド・ルシエ PIERRE DEROCHÉ
82	エベル EBEL	106	ラルフ・ローレン RALPH LAUREN
83	エドックス EDOX	107	レスセンス RESENCE
84	フォルティス FORTIS	108	ロジェ・ド・ブリュイ ROGER DUBUIS
85	フランク・ミュラー FRÉDÉRIQUE CONSTANT	109	セイコー SEIKO
86	グライムス・オリジナル GLASHÜTTE ORIGINAL	110	シン SINN
87	グライム GLYCINE	111	スピーク・マーティ SPEAK-MARIN
88	グラハム GRAHAM	112	スモーカー STOWA
89	グッチ GUCCI	113	ティソ TISSOT
90	ハミルトン HAMILTON	114	チュチマ TUTIMA
91	ハリー・ウインストン HARRY WINSTON	115	ユリス・ナルダン ULYSSE NARDIN
92	ヒューマー HUMMER & CIE.	116	ヴァンクリーフ&アーペル VAN CLEEF & ARPELS
93	ジャケ・ムロー JAQUET DROZ	117	ヴェンペ WEMPE
94	ジャンrichard JEANRICHARD	118	ゾディアック ZODIAC

第4章 もつと腕時計を知る

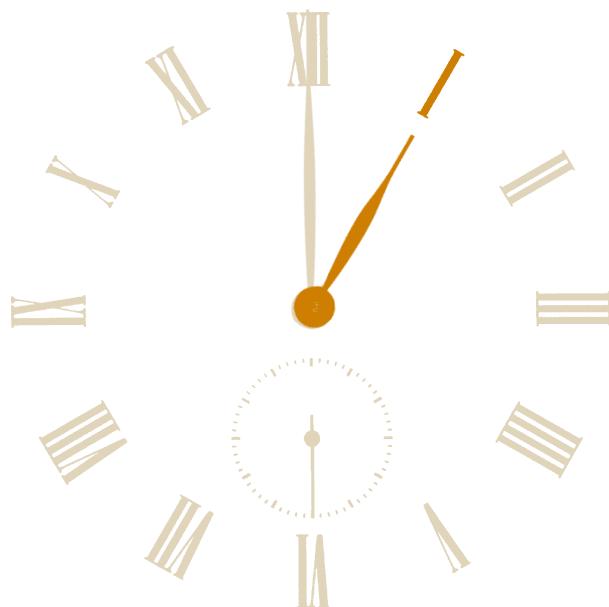


- | | | | | | | | | | |
|------------------|---|------------------------------|---------------|---------------------|-----------------------|--------------------|------------------|------------------------|---------------------|
| 158
お問い合わせ先一覧 | 144
<i>Ambassadors & Testimonies</i> | 148
全国版 初心者にも安心の優良ショップを紹介 | 138
腕時計の歴史 | 134
独立時計師の工房を訪ねて | 128
アンティークウォッチのススメ | 126
並木浩一 腕時計の美学 | 124
腕時計の素朴な疑問 | 122
腕時計の扱い方と日々のお手入れ | 120
腕時計の仕組みをひもとく |
|------------------|---|------------------------------|---------------|---------------------|-----------------------|--------------------|------------------|------------------------|---------------------|
- オーナーが語る時計の魅力とは
買(つか)うもの、使うもの、売(う)りもの……。そこには、現行品ではない魅力が満載!!

第 1 章

腕時計の基本

何事にも、作法がある。高級腕時計の購入を考えるにあたって知るべき基本的なことがある。それらを知り尽くした識者たちの金言に、まずは耳を傾けてほしい。そこから自分の好みを見つけよう。



知っておきたい

腕時計の基礎知識

腕時計の雑誌やカタログを見ると、専門用語が当たり前のように使われていることが多い。

なかには聞いたこともない言葉もあるかもしれないが、
ここでそれぞれの意味を正しく理解しておこう。

Basic Knowledge of Watches

各パートの名称

ここでは、腕時計の見える部分の代表的パートを説明したい。たとえば一口に“針”といつても数種類あるし、ケースといつても素材は多数ある。どんな素材が使われているかにより、時計の機能も変わってくるのだ。



機械式時計とクオーツ時計

腕時計を大きく分けると、ムーブメントから機械式とクオーツの2つに分類される。これはどちらが良い悪いではない。それぞれの特徴をよく理解して、自分のライフスタイルに合ったタイプを選ぼう。

機械式時計の特徴

- ・時計としてのステータスが高い
- ・電池交換の必要がない
- ・オーバーホールが必要
- ・耐用年数がクオーツより長い

クオーツ時計の特徴

- ・時計としての精度が高い
- ・機械式に比べ価格が安い
- ・機械式に比べ衝撃に強い
- ・メンテナンスが簡単

	機械式時計	クオーツ時計
価格帯	1万円台から、数十万、数百万円台と、時計によりかなり異なる	100円SHOPでも買えるが、数千円～数万台が多い
精度	平均日差±10秒程度	平均月差±20秒以下
駆動時間	40時間前後が多いが、7DAYS、10DAYSのモデルも	約2～3年で電池交換が必要
耐用年数	きちんとメンテナンスしていれば一生使える	モジュールの寿命が約10年
オーバーホール	3～4年ごとにオーバーホールが必要	とくになし
衝撃耐性	ダイバーズなど例外もあるが、精密機械なので基本はない	1～2メートルくらいなら落としてもほぼ耐える

実用重視で選ぶか
趣味で選ぶか

時計にとつていちばん大切なことは、時刻を正確に表示すること。この主張はおおむね正しい。それで考えるなら、時計選びはクオーツだけとなってしまうのだが、必ずしもそうとは限らないところに時計選びの楽しさと奥深さがある。時計を知っている人、好きな人ほど、機械式を選ぶ。それは電気を使わずに、ゼンマイだけで動いていることのロマン、腕に乗ってしまうだけの小さなスペースに精緻な力を創り出す職人への尊敬など、理由は様々だ。もはや芸術品の域にまで達している時計もあり、価格的にもクルマはおろか、家よりも高いモデルすらある。一方、クオーツは、限りなく正確だし、電池ある限り動きづける。スポーツなどの計測に、秒単位まで正確な時を知るためのツールと考えるならば、クオーツ一択だ。また価格的に手が届きやすいというのもクオーツの魅力だろう。

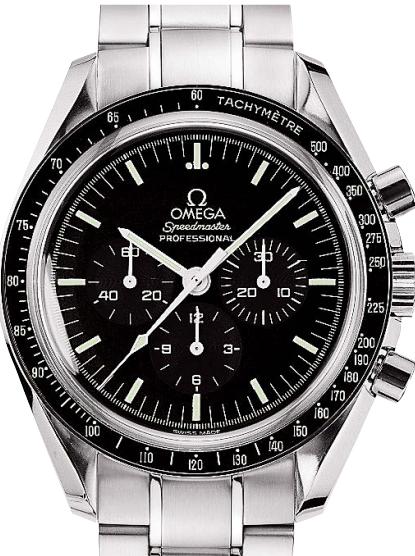
ムーブメントのタイプ

時計にとって車のエンジンにあたるのがムーブメント。
機械式とクオーツ式の違いは前のページの通りだが、
それぞれさらにタイプが分かれている。ここではそれを紹介しよう。

機械式

自分がゼンマイを巻くという
行為を楽しめる

手巻き



構造がシンプルな手巻き。シンプル
ゆえにメカへの負担も少なく長持ちする。

機械式時計には、手巻きと自動巻きとの2種類がある。手巻きはリューズを自分で巻き上げて時計を動かす作りで、これを面倒と考える人にはすすめられないタイプだ。手巻きの良さは、構造がシンプルなことによる耐久性、そして薄さだろう。そして最大の良さ

は、自分が巻くというこの仕組み自体にある。ゼンマイを巻けるのは、他では味わえない独特のものなので、ぜひ体感してほしい。またアポロ13号で有名なオメガスピードマスターのように、過酷な状況下で最も信頼できるメカだったという伝説も残っている。

機械式

機械式の魅力と実用さを
兼ね備えていて使いやすい

自動巻き



初めての機械式時計なら、自動巻きが
おすすめ。種類も価格も豊富だ。

着けている際に腕が動くことで、ムーブメントにあるローターを回転させ、その力でゼンマイを巻くのが自動巻きだ。多くのモデルで文字盤にはAUTOMATICと書かれている。使い勝手で考えれば、手巻きよりも自動巻きの方を圧倒的にすすめる

ことができる。ただ、手巻きと違いローターが入る分、時計に厚みが出てしまうが、時計にはある程度のボリュームがある方が好きという人には美点となる。機械式を楽しみたい人には、手巻きでも自動巻きでも大きな差はないので、好みで選んでかまわないだろう。

信頼できる精度と多機能
手に届きやすい価格帯

クオーツ 電池式



時間を正確に知るという実用性で選ぶのであればクオーツだ。



選ぶ時は、コンパスや高度計測機能と組み合わせ、万能感を楽しみたい。



機械式なのに針は滑らかに進む、これを見ているだけでもおもしろい時計だ。

クオーツは機械式に比べると精度がはるかに高いので、たとえば分単位の時刻認識が必要なシーンにはおすす

めだ。また機械式に比べ、衝撃に強いため壊れにくく使うようには設計されていない。またジョギングなどをしている人には、タイムや心拍数、歩数などを計る機能が充実したモデルも

ソーラー式とは、太陽エネルギーを電気エネルギーに換えて動く時計だ。太陽光がきちんと当たるところなら自然に充電ができる、

基本的に電池交換の必要はない。通常の電池式腕時計だと2年くらいで電池がなくなるが、ソーラーならその手間

とコストがかからない。ひとつ注意したいのは、エネルギーを蓄えておく蓄電池だ。ソーラーは電池交換が要らないといわれているが、充電効率が落ちてくれれば蓄電池の交換が必要になるので、全く電池交換の必要がない、とい

うのは正しくない。

スプリングドライブは、機械式とクオーツとの優れたところを融合した理想のハイブリッドウォッチだ。機械式の長所は、トルクが高いこと。これにより、大きな針やデイト表示をするといった、いろいろな機能が搭載でき、時計デザインの幅が広

がるのだ。それとクオーツの利点である制御システムを用いた、誤差の少ない高精度。動力は機械式のメカニズムなのにクオーツ並みの精度という、このシステムを実用化させたのは、世界でセイコ一だけ。日本が誇るべき高い技術だ。

太陽のエネルギーで動く
地球上に優しいモデル

クオーツ ソーラー式

世界に誇る日本の技術
理想的ハイブリッドモデル

スプリングドライブ

ケースの素材

壊れにくい、傷がつきづらいなど、実用面からステンレススチールが多い時計ケース。

しかし、近年ではケースの素材もバラエティに富み、たとえば金属以外にもカーボンやセラミックなどをを使ったケースが開発されている。

▼ プラチナ



ゴールドよりハイクラス

白金ともいう。腕時計に使われるプラチナは主にPt950。95%がプラチナで、強度を保つために5%にパラジウムが使われていることが多い。

▼ ゴールド



高いステータス性

腕時計に使われるのは主に18金で、その場合、金の比率は75%。イエローゴールド、ホワイトゴールド、ピンクゴールドなどがある。

▼ ステンレススチール(SS)



実用性にすぐれた素材

カタログなどでは「SS」と略されることが多い。合金鋼で、鉄に10.5%以上のクロムを含んでいる素材。錆びにくいのが特徴。

▼ セラミック



陶器のような素材

基本成分は、金属酸化物の熱処理で焼き固められた焼結体で、陶器に近いセラミック。耐熱性に優れていて、傷もつきにくい。

▼ チタン



金属アレルギーをおこしにくい

チタンは、銀白で金属光沢を持ち、軽くて耐久性や耐熱性に優れた素材といわれている。金属アレルギー体质の人にはおすすめ。

▼ カーボン



軽くて丈夫なハイテク素材

軽量で耐久性に優れた特徴を持つカーボンは、F1のボディや航空宇宙産業にも使われるハイテク素材。ケースだけでなくバンドに使われることもある。

チタンにするのが良いだろう。チタンになると、もつと価格は跳ね上がってしまう。そのため、無難という点から考えればステンレスがおすすめだ。多少ぶつけても傷はつきにくい。もし金属アレルギーであるならば、セラミックや

チタンになると、もつと価格は跳ね上がってしまう。そのため、無難という点から考えればステンレスがおすすめだ。多少ぶつけても傷はつきにくい。もし金属アレルギーであるならば、セラミックや

時計を選ぶ時に、初心者はあまりケース素材について考えていないことが多い。なぜなら、一般的にステンレススチールが多く、あまり他の素材のものと比較検討できないからだ。

なぜ多いのかというと、ステンレスが錆びにくく、傷がつきにくいためだ。ただし、最も価格がリーズナブルだからである。硬さでいえば、セラミックやチタンなどが上だが、それらは種類もステンレスと比べれば少なく、価格も高い。なので、趣味性の高いモデルになってしまっている。ましてやゴールドやプラチナになると、もつと価格は跳ね上がるてしまう。そのため、無難という点から考えればステンレスがおすすめだ。多少ぶつけても傷はつきにくい。もし金属アレルギーであるならば、セラミックや

時計ケースに何を求めるのかが重要